

## 発達障害アセスメント研修② 応用編 「感覚プロファイル(SP:Sensory Profile)」の概要

### 1 研修の目的

アセスメントツールを使用することで、発達障害の特性を客観的にとらえ、子どもの行動観察や保護者面接に活かす視点を得ることができます。この研修では、フォーマルなアセスメントツールの1つである「感覚プロファイル」について、概要や数値の意味を理解することを通して、アセスメントの視点を学びます。また、アセスメントの結果から子どもの発達特性や行動面の理解を深め、日常の支援計画に活かすことを目指します。

#### ○アセスメントツールとは

アセスメントに用いられる標準化された検査方法をアセスメントツールといいます。結果を数値化することで、客観的に評価を行うことができます。

#### ○感覚プロファイルとは

感覚プロファイルは自閉スペクトラム症を中心とする発達障害の人たちの感覚特性を客観的に把握するためのアセスメントツールで、2015年に日本版が刊行されました。このアセスメントツールにより、複数の感覚刺激への反応傾向を包括的に把握することができます。保護者や支援者など子どものことをよく知る人が質問紙に回答します。適応年齢は、3歳～82歳です。

### 2 対象者 埼玉県内の支援者

※さいたま市の方は下記URLより、「支援者向け研修」をご確認ください。

<https://www.city.saitama.jp/002/003/004/003/001/p009014.html>

発達障害支援専門研修受講者(保健師・児童発達支援センター職員・児童発達支援事業所職員・放課後等デイサービス職員等)

### 3 講師 萩原 拓 氏(国立大学法人 北海道教育大学 教授)

### 4 日時 令和3年11月6日(土)13:30~16:30(開場13:00)



### 5 研修方法・定員 集合研修(定員 40名)

会場:埼玉県発達障害総合支援センター 研修室

(さいたま市中央区新都心1-2 県立小児医療センター南玄関3階)

県立小児医療センター 正面玄関からは入れません。

※申込先着順。定員に達し次第募集を締め切ります。受講決定通知はありません。

※講師は遠隔地からZoomを使用して講義します。検査用紙を使用するため、受講者のみ研修室に集合して研修を実施します。

※緊急事態宣言等により集合研修の実施が困難になった場合には、集合での実施は中止し、Zoomの利用が可能な方はZoomでの受講に切り替えていただきます。その場合は検査用紙を郵送いたします。後日動画配信等はいりませんので、ご了承ください。

### 6 申込期間 令和3年8月23日(月)~令和3年10月25日(月)13:00まで

## 7 申込方法

電子申請・届出サービスで「登録せずに申し込む」からお申し込みください。

【当センターホームページからの入り方】

発達障害総合支援センターホームページ → 令和3年度研修一覧(埼玉県内の支援者向け)  
→ 発達障害支援専門研修 → 「発達障害アセスメント研修②応用編」

【スマートフォン用 2次元バーコード】



## 8 受講時の注意事項

- 検査結果を集計する演習(計算作業)があります。
- 発達障害児の感覚の受け取り方について理解を深めるために、この研修の前後に「発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修①」の受講をお勧めします。
- 実施方法が変更になることがありますので、随時当センターホームページをご確認ください。
- 公共交通機関をご利用ください。小児医療センターの駐車場利用減免はできません。
- 受講カードをお持ちの方は当日ご持参ください。
- 来所前に検温の上お越しください。
- 来所時の検温・手指消毒、受講中のマスク着用にご協力ください。
- 研修会場は、換気のためドアを開けます。室温の変化に対応できるよう、服装での調節、水分補給を行うなど体調管理には十分ご注意ください。

※以下に該当する場合は来所を控えていただくようお願いします

- ・平熱を超える発熱、咳、喉頭痛、倦怠感(だるさ)、息苦しさ、嗅覚や味覚の異常を含む風邪のような症状や体調不良の方
- ・本人または同居家族、職場を含む身近な方が保健所等から新型コロナウイルス陽性者、もしくは濃厚接触者といわれ、自宅等での待機を要請されている方

埼玉県発達障害総合支援センター 地域支援担当  
Tel:048-601-5551 Fax:048-601-5552